

最高の緑水祭～絆が深まった2日間～

今週からは気温が下がっていくようです。紅葉が目に見え鮮やかな季節となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために2か月延期となっていた第38回緑水祭を11月18日(木)文化の部、19日(金)体育の部と開催することができました。この日まで緑水祭の成功を目指して、生徒会本部の生徒たちを中心に、全校生徒が力を合わせ、準備を進めてきました。今年度の緑水祭は、2学期が分散登校ということもあり、急遽延期となり、内容の変更や大きな制限がある中で、難しい課題に取り組み、自分の責任を果たそう、仲間と一緒に乗り越えようと努力してきた生徒会役員をはじめとする全校生徒の姿は本当に素晴らしいものでした。

体育館のステージを彩ってくれた素晴らしい全校制作や各クラスの学級旗、時間のないなか本当に素晴らしい作品にまとめてくれました。展示部門に見られる、各学年の校外学習や修学旅行を体験しての作品、美術などの授業の作品、文化芸術部の作品、図書委員会による展示や作品、素晴らしい一つ一つの作品には、たくさんの個性や努力が活かされ、一人ひとりの成長のあかしが感じられました。なぎなた部による発表も全員が集中していて、一糸乱れぬ演技で本当に素晴らしいと思いました。県吹奏楽コンクールで金賞、西関東大会で銀賞となった吹奏楽部の素晴らしく、楽しい演奏をまた聴くことができ、本当にうれしく思いました。私が一番感動したのは、各クラスの合唱です。新型コロナの影響で制約があるなか、合唱の練習にも工夫を重ね、どのクラスも素晴らしい合唱を聴かせてくれました。1年生は初めての学園祭だったにも関わらず、合唱は私たちの想像を越えたレベルで、とても素晴らしかったと思います。どのクラスもしっかりとまとめ、よい集団に成長したなと強く感じました。2年生は、ぐっと曲が難しくなったにも関わらず、声量もあり、どのクラスも素晴らしい演奏を聴かせてくれました。声量も十分でパワーがあり、これからさらに成長し、玉中をしっかりと支えられるチームになつたと、嬉しく思いました。そして3年生。2年生よりも更に難度の高い曲に挑みそれを見事に歌いきっていました。私が強く感じたのは、3年生のみなさんの

「想い」です。最後の緑水祭にかける「想い」、クラス全員で心をあわせ素晴らしい曲を創り上げようとする「想い」、その「想い」がステージに立つ3年生全員の姿から強く感じることができたことは、本当に素晴らしいことだと思いました。そして、会場中が感動しました。また、写真をとるときなどのやりとりから、担任の先生方も含めた強い絆を感じる事ができました。3年生の姿が、演奏が、「想い」が、1、2年生をこれからさらに成長させてくれると強く実感しました。

19日(金)の体育の部では、力強く躍動する全校生徒の姿が、印象的でした。各クラスが短い時間の中で、練習を重ね、この日を迎えました。ブロック競技では、3年生が1、2年生をリードする場面が多く見られ、様々な競技に挑んでいました。学年を越えた絆が深まっていることを強く感じました。学年競技では、各クラスが譲れない戦いに真剣に挑んでいました。たくさんのドラマがあり、たくさんの「感動」を私たち見ている者に感じさせてくれました。特に私が印象に残っているのは、3年生最後の全員リレーです。白熱するトップ争いをした2組と3組、最後までどちらが勝つかわからない好レースでした。残念ながら少し遅れてしまった1組の岡村歩さんがバトンを受け取り走り始めた時、クラス全員と一緒にトラックのなかを応援しながら伴走していました。1組がゴールした後、先にゴールした2、3組の生徒も一緒になって、互いにその健闘を称えあい、学年の大きな輪ができていました。その姿には私たちの胸にもぐっとこみ上げるものがありました。本当に素晴らしい最高学年に成長したと感じました。そして、緑水祭の閉祭式。生徒会役員の生徒一人一人からの言葉は、本当に「想い」の



こもった全校生徒や先生方への感謝の気持ちであふれていました。この2日間で「学校、学年、クラスの絆を深めることと互いの成長」が達成された、最高の緑水祭となりました。

今回の緑水祭文化の部は、会場の密を避けるため、業者をお願いしライブ配信をさせていただきました。生徒一人一人の表情がわかるとたいへん好評でした。残念ながらご覧いただけなかった保護者のみなさんや生徒のために期間限定の配信を予定しています。是非ともご覧いただけたらと思います。詳細については後日連絡させていただきます。また体育の部にはたくさんの保護者の様方に参観いただき、本当にありがとうございました。また、保護者受付にご協力いただいたPTA 本会役員の皆様方と学年部役員の皆様方に改めて感謝申し上げます。

<生徒の感想>

最後の緑水祭。とてもよい思い出になりました。この2日間と取り組み期間の中で、クラスの絆がより深くなったと思います。緑水祭中止にならなくてよかったと思いました。先生と保護者、そして生徒会本部の人たちに感謝です。(3年3組 丸茂ひなさん)

緑水祭を終えて、私はこのクラスでよかったと本当に思いました。この緑水祭で私はクラスのみならず協力することの大切さや同じ目標に向かって頑張ることの大切さを知ることができました。そして、今までの緑水祭で一番楽しくよいものになりました。(3年1組 竹内 耀さん)



小学校への出前授業と菊池省三先生による師範授業について

本校は、昨年度から山梨県教育委員会と甲斐市教育委員会より小中連携研究推進校の指定を受け、玉幡小学校・竜王西小学校の3校で研究を進めてきました。昨年度は、コロナの影響もあり、計画したことがなかなか推進することができませんでした。しかし、教職員同士で互いの学校の授業研究会に参加し、同じ授業を観て、意見を交わす、よいところは自校で実践していく、そういう姿勢で取り組んできました。本校で行っている「夕学」もこの小中連携から小学校へ広がっていったと聞いています。コロナのことがあるのでなかなか児童・生徒同士の交流は難しいのですが、10月には本校の陸上部が小学校の陸技会直前の6年生を指導しました。

今回「中学進学への橋渡し」と、16日(火)に校区にある3校(玉幡小学校・竜王西小学校・竜王南小学校)で、6年生対象に来春からの中学校での新生活について話す出前授業を、中学校3年生の代表(岡村歩さん、三神瑠衣さんのペア、大勝巧貴さん、白川想乃美さんのペア)が行いました。6年生に対して、中学校生活への不安を少しでも解消し、希望と期待をもってもらおうと企画しました。小学校と中学校との違いや自分自身の経験も話してくれました。また本校で帰りの会で今年度から実施している「フリートーク」についてもその場で体験してもらいました。授業を参観していただいた先生方からは、4人の生徒が本当にわかりやすく中学校生活を話す様子や自分自身の経験を自分の言葉でしっかりと話す姿に、たくさんの賞賛の声をいただきました。授業には、5月にも来校いただき師範授業等でご指導いただいた教育研究家の菊池省三先生にもアドバイザーとして参加いただきました。授業の後半は、菊池先生が中学生に質問しながら、ユーモアを交えた会話で場を盛り上げながら、6年生の児童から中学校への期待の言葉と拍手を引き出してくれました。また、6校時には、菊池先生に3年生全クラスの生徒への特別授業をしていただきました。卒業まであと4ヶ月弱となった3年生へエールを贈っていただく、感動的な授業でした。菊池先生自身も初めての体育館での授業、学年の生徒全員への授業ということで、無理を承知でお願いしましたが、たくさんの学びを3年生の生徒たちに、私たちに与えていただいた貴重な時間となりました。



